



魅せられた! 魅惑のピアノ五重奏



第8回浜松国際ピアノコンクールを記念しての楽器博物館レクチャーコンサート「魅惑のピアノ五重奏」が、11月18日(日)午後7時より音楽工房ホールで開催されました。出演はヨーロッパで活躍中のデンハーグピアノ五重奏団。

フォルテピアノ奏者の小川加恵をリーダーとするこのアンサンブルは、オランダの王立デン・ハーグ音楽院古楽科で学んだメンバーを中心にして2008年に発足、ユトレヒト、バルセロナ、サント、アントワープなどヨーロッパの主要な古楽フェスティバルに招待され、アントワープやイギリスの国際古楽コンクールで高い評価を獲得、2011年のオランダ、ファン・ワセナール国際アンサンブルコンクールでは見事優勝した実力派。今回のメンバーは、フォルテピアノの小川に加えて、バロックヴァイオリンに高橋未希、バロックヴィオラにアダム・レーマー、バロックチェロに山本徹、そしてバロックコントラバスにはオリジナルメンバーの角谷朋紀に代わって西山真二。

ピアノ五重奏曲として音楽史上最初の作品であるデュセックのピアノ五重奏曲から始まり、フンメル作品、そして最後は有名なシューベルトの「罫」。楽器博物館所蔵1827年ウィーンのグラーフ作と伝えられるフォルテピアノ

の名器と弦楽器との甘美なアンサンブルで、聴衆を酔わせた。

コンサートに先立って、6時半からは小川さんによるプレトーク「知られざる美の世界、19世紀ピアノ五重奏への誘い」があり、18世紀後半から19世紀初頭に多くの人に楽しまれた伴奏付きピアノソナタの出現、変遷と発展、音楽史上における評価と問題点について、興味深いお話がありました。

今回から、浜松国際ピアノコンクールには第3次予選に室内楽としてピアノ四重奏の演奏が課せられましたが、独奏楽器としてのピアノではなく、アンサンブルの一員としてのピアノの役割、またアンサンブル音楽の素晴らしさと重要さを認識するうえで、大変貴重なコンサートでした。

デンハーグピアノ五重奏団の今後のますますのご活躍を祈っています。

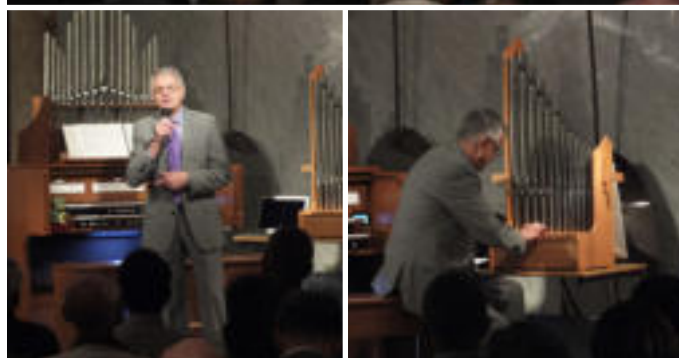
日時：平成24年11月18日(日)

19:00～21:00 (プレトーク18:30～)

会場：アクトシティ浜松音楽工房ホール

出演：小川加恵(フォルテピアノ)、高橋未希(バロックヴァイオリン)、アダム・レーマー(バロックヴィオラ)、山本徹(バロックチェロ)、西山真二(バロックコントラバス)
入場者：152人

レクチャーコンサート No. 141 「オルガン・ヒストリー」



日時：平成 24 年 11 月 24 日（土） 18:30 ～ 20:30
 会場：楽器博物館天空ホール
 出演：ヘクター・オリベラ 入場者：78 人
 共催：公益財団法人ローランド芸術文化振興財団

オルガンは数ある楽器の中でも歴史の長い楽器のひとつです。今回のコンサートは何種類もの音色が出せる電子オルガンを、オルガニストのヘクター・オリベラさんが演奏しました。

オルガン曲として有名な曲のひとつ、バッハ作曲「トッカータとフーガ ニ短調」は古典調律で演奏され、「クリスマスの 12 日間」ではオーケストラの音が出るのを利用し、フルート、オーボエ、チェンバロなど様々な楽器の音を使いながら演奏しました。ボエルマン作曲「組曲」では音色だけでなく、大聖堂の響きに変え、大聖堂にいる気分を味わいました。オルガン曲だけでなく、ベートーヴェン作曲の「ピアノソナタ第 8 番《悲愴》」より第 2 楽章アダージョをオルガンで演奏するという面白い試みも楽しみました。そして最後は、オリベラさんがイギリスのウェールズ地方の賛美歌をベースにした「聖デニオによる変奏曲」を演奏しました。

また、電子オルガンだけでなく、片手でふいごを操作しながら、片手で演奏するポルタティーフオルガンも紹介され、オルガンの発展と歴史、その魅力を伝えてくださいました。

演奏とお話に加えて、スクリーンを使って各地の教会やオルガンの写真や映像で紹介くださり、ユーモアあるオリベラさんならではのコンサートに、客席は笑顔で溢れていました。

レクチャーコンサート No. 142 「オカリナ・クリスマス」



オカリナは 1860 年頃イタリアにある小さな町「ブドリオ」で生まれました。ドナーティという人が考えたものだそうです。オカリナは日本でも人気がありますが、台湾や韓国などでも広く親しまれています。今回は日本で活躍するオカリナグループ、スイートポテトオカリナ合奏団（小林達夫 斉藤智枝 橋詰智章 植田篤司 佐々木一真 大迫ちか子 武藤祥子 青木優美 大山智子）を招いて、レクチャーコンサート「オカリナ・クリスマス」を開催しました。ステージ上には、さまざまな大きさ、形、素材の沢山のオカリナが並べられていました。彼らの使う譜面台には大きな赤いリボンが飾り付けられ、クリスマスの雰囲気をつくりだしていました。C.de セルミジ作曲「花咲く日々生きる限り」、

L. デンツァ作曲「フニクリ・フニクラ」、クリスマス・メドレーなどを演奏。途中、第 2 部の最初には「小林達夫の『オカリナの歴史』好き勝手トークバトルコーナー」があり、当館の嶋館長との対話でオカリナの歴史についてや、2003 年にブドリオで開催された「オカリナ生誕 150 年記念祭」に出演した際の様子などを映像と共に紹介しました。また、ドナーティが当時製作したとされるオカリナも披露されました。オカリナの音色がやさしく響く、居心地の良いクリスマスコンサートでした。

日時：平成 24 年 12 月 15 日（土） 18:30 ～ 20:30
 会場：楽器博物館天空ホール
 出演：スイートポテトオカリナ合奏団
 入場者：104 人

イヴニングサロンコンサート「古楽の愉しみ」～チェンバロ、バロックフルート、 バロックヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバによる～



出演：有田正広（フルート）、戸田薫（ヴァイオリン）、
武澤秀平（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、佐藤駿太（ヴァイオリン
学部1年）、舟本由美子（フルート 研究科1年）、上羽剛
（チェンバロ 研究科2年）、釣巴留香（フルート 研究科2年）、
吉崎恭佳（フルート 学部4年）

世界的な演奏家を輩出しているわが国古楽教育の最高峰桐朋学園大学音楽学部。オーディションで選抜された学生メンバーと教授陣により、バロック音楽のコンサートを楽しみました。チェンバロ、バロックフルート、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックヴァイオリンのアンサンブルです。演奏曲は J.S バッハ（1685－1750）の「フルート、ヴァイオリンと通奏低音のためのトリオ・ソナタ ト長調 BWV1038」、J.F ルベル（1666－1747）「舞踏の諸相」など全 6 曲です。ホールに音がよく響き、ひとつひとつの曲を丁寧に演奏している様子はとても紳士的でした。フレッシュな演奏にお客様からはたくさんの拍手が送られました。

日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19:00～20:00
会場：楽器博物館天空ホール 入場者：32 人
共催：桐朋学園大学音楽学部

イヴニングサロンコンサート「グラン・ママン～ 100 年前のアコーディオン～」

アコーディオンは空気を使って音を出す楽器で、鍵盤やボタンがついています。「グラン・ママン（おばあちゃん）」とは、かとうかなこさんがご自身の 1920 年代製のアコーディオンにつけた名前です。大変美しい音色と装飾が魅力的な楽器です。今回のコンサートでは、グラン・ママンを含め計 4 台のアコーディオンにはかとうさんが命名したユニークな名前がつけられています。ヴァイオリンの演奏は向島ゆり子さん。向島さんは、途中アコーディオンに持ち替え、かとうさんと「朧月夜」を演奏しました。その他にも「パリの空の下」「スタイルミュゼット」や、かとうかなこさん作曲の「雲のむこう」「ひだまり」などが演奏されました。楽しげで躍動感あふれる音楽は、会場を一気に盛り上げ、観客からは惜しめない拍手が送られました。



日時：平成 24 年 11 月 30 日（金） 19:00～20:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：かとうかなこ（アコーディオン）、向島ゆり子（ヴァイオリン）
入場者：53 人

イヴニングサロンコンサート「国際古楽コンクール《山梨》2012 入賞者コンサート」



日時：平成 24 年 12 月 1 日（土） 18:30～19:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：倉本晋児（バリトン） 野澤知子（チェンバロ）
入場者：44 人 共催：国際古楽コンクール《山梨》実行委員会

本年 4 月に山梨で開催された「国際古楽コンクール《山梨》2012」の声楽部門で最高位を受賞した倉本晋児さんによるバリトンコンサートを楽しみました。共演はチェンバロの野澤知子さん（2003 年同コンクールチェンバロ部門第 1 位受賞）です。ヘンデル作曲オペラ「エジプトの女王ベレニーチェ」よりデメトリオのアリア「枷と鎖につながれようと」、武満徹作曲「小さな空」、作曲者不詳「冬の夜」などを演奏。倉本さんの豊かなバリトンの歌声は天空ホールに良く響き、チェンバロの音色とあわせて温かな音楽を楽しみました。曲間には倉本さんがそれぞれの曲についての解説をしました。お話も大好きという倉本さん。お話の中で会場に笑いが起こるなど終始和やかな雰囲気となりました。

ミュージアムサロン

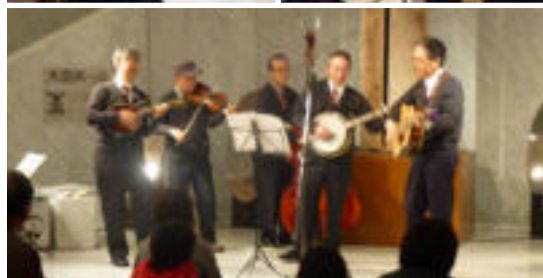
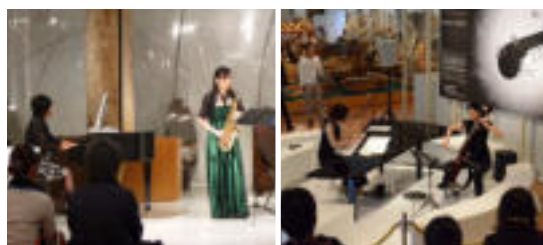
今年度多く開催しているミニコンサートですが、11月以降もゲストをお迎えして行いました。11月18日(日)は「チェロと電子ピアノ」。現在公開中の特別展で紹介されているサイレントチェロと電子ピアノによる演奏です。チェロは立川訓子さん、ピアノ演奏は萩田なずなさんでした。11月25日(日)は「サクセス&ピアノ」。浜松で活躍されている坂本佐智子さんのサクソフォーンと山田優子さんのピアノで、柔らかいハーモニーを愉oshimしました。12月2日(日)は「ブルーグラス」。当館のミニコンサートではおなじみのカントリー・フロンティアの皆さんが明るい音楽を奏でました。バンジョー、ギター、フィドル、マンドリン、コントラバスによる華やかなステージでした。

11/18(日)「チェロと電子ピアノ」 11:30、12:30 (展示室1階)

出演：立川訓子(チェロ)、萩田なずな(ピアノ) 78人

11/25(日)「サクセス&ピアノ」 14:00、15:30 (天空ホール)

出演：坂本佐智子(サクソフォーン) 山田優子(ピアノ) 74人



12/2(日)「ブルーグラス」 14:00、15:30 (天空ホール)

出演：カントリー・フロンティア 75人

楽器博物館 CD コレクション

No.41「大いなる転換期の音楽」は、当館所蔵の1700年イギリスのカークマン製ハープシコードを中野振一郎さんが演奏。ヴァイオリンの川田知子さんも加わって18世紀にイギリスの自身に満ちた音楽を奏でます。イギリスの名器カークマンの上品な響きをお楽しみください。

No.42「リードオルガンに夢をのせて」は、鈴木開さんの流麗なオルガン演奏と、浜松出身のゆかりの芸術家、ヴォーカリスト、鈴木重子さんの透明な歌声を収録。子供の頃の唱歌童謡の伴奏楽器として、あるいは運動会やお遊戯会の音楽を奏でる楽器として、私たち日本人の心のふるさととも言えるリードオルガン。このCDはリードオルガンの新たな魅力を浜松から発信しています。



レコード芸術準特選

ぶらあぼ推薦



「おすすめ、なう！」ははじめました!!

博物館学芸スタッフが気に入りの楽器を紹介する「おすすめ、なう！」が12月から始まりました。一ヶ月にひとつの楽器を取り上げます。第1回目はボルトガル・ギターです。簡単な解説文と写真、音を使って楽器の魅力に迫ります。次回はどんな楽器が取り上げられるか楽しみです。

これからの催し物

ホームページでは最新のイベント情報を紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート
「勇壮豪快優美艶麗～薩摩琵琶～」
1/29(火) 19:00 天空ホール 出演：岩佐鶴丈
- イブニングサロン いずれも天空ホール
「世界無形文化遺産 パリ島の影絵人形芝居ワヤン・クリ
アルジュナ王子の瞑想～マハバラタ物語より～」
2/3(日) 18:30 出演：梅田英春、サンディア・ムルティ
「冬の夜のブラームス～弦楽四重奏曲第2番～」
2/22(金) 19:00 出演：愛知県立芸術大学学生&教員
- ミュージアムサロン 14:00、15:30 天空ホール
1/27(日)「コーラス」 出演：アンサンブルムジーク女性合唱団

- 11/18(日) レクチャーコンサート「第8回浜松国際ピアノコンクール開催記念～魅惑のピアノ五重奏～」
19:00(プレトーク 18:30) 音楽工房ホール
出演：デンハーグピアノ五重奏団 入場者：152人
- 11/24(土) レクチャーコンサート「オルガン・ヒストリー」
18:30 天空ホール
出演：ヘクター・オリベラ 入場者：78人
- 11/25(日) ミュージアムサロン「サクセス&ピアノ」
14:00、15:30 天空ホール
出演：坂本佐智子、山田優子 入場者：74人
- 11/30(金) イブニングサロン
「グラン・ママン～100年前のアコーディオン～」
19:00 天空ホール
出演：かとうかなこ、向島ゆり子 入場者：53人
- 12/1(土) イブニングサロン
「国際古楽コンクール《山梨》2012入賞者コンサート」
18:30 天空ホール 出演：倉本晋児、野澤知子
入場者：44人
- 12/2(日) ミュージアムサロン「ブルーグラス」
14:00、15:30 天空ホール
出演：カントリー・フロンティア 入場者：75人
- 12/15(土) レクチャーコンサート「オカリナ・クリスマス」
18:30 天空ホール
出演：スイートポテトオカリナ合奏団 入場者：104人

博物館日誌

- 11/14(水) イブニングサロン
「古楽の愉しみ～チェンバロ、バロックフルート、
バロックヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバによる～」
19:00 天空ホール
出演：桐朋学園大学音楽学部古楽器専攻学生、教員
入場者：32人
- 11/18(日) ミュージアムサロン「チェロと電子ピアノ」
11:30、12:30 出演：立川訓子、萩田なずな 入場者：78人

浜松市楽器博物館だより

平成24年12月20日発行 No.74 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp URL http://www.gakkihaku.jp/